

原子炉本体解体のパイロットプロジェクトの発足について

2025 年 10 月 3 日

使用済燃料再処理・廃炉推進機構

この度、当機構は、原子力発電所の廃炉を着実かつ効率的に進めることを目的として、電力 10 社^{※1}、電気事業連合会および ATENA（原子力エネルギー協議会）との協業体制による原子炉本体^{※2}解体のパイロットプロジェクトを立ち上げましたのでお知らせします。

廃炉工事は、大きく 4 段階に分けて実施しますが、現在多くの廃炉プラントは第 2 段階（原子炉の周辺機器の解体撤去）にあります（参考 1・2）。

このような中、中部電力（株）浜岡原子力発電所 1，2 号機では、昨年度、我が国の商業用軽水炉で初となる第 3 段階（原子炉本体の解体撤去）に移行しました。

第 3 段階の廃炉工事は、第 2 段階までと異なり、放射線レベルの高いものを扱うことによる課題が想定されます（参考 3）。

これらは他の廃炉プラントにも共通する課題であり、後続のプラントが第 3 段階に移行する前に、安全性を最優先とした円滑かつ合理的な解体工法を構築しておく必要があります。

このため、電力、電気事業連合会および ATENA との協業体制による原子炉本体解体のパイロットプロジェクトを立ち上げることにしました。

このプロジェクトで課題の対応策を検討し、その結果を浜岡原子力発電所 2 号機に適用して検証していきます。

※1 北海道電力、東北電力、東京電力 HD、中部電力、北陸電力、関西電力、中国電力、四国電力、九州電力、日本原子力発電

※2 原子炉本体とは炉内構造物と原子炉圧力容器をいう。

以 上

[添付資料：パイロットプロジェクトについて](#)

<お問い合わせ窓口>

東京事業所

電話：03-4222-1801（代表）